

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設の名称	宮城県総合運動公園(宮城県サッカー場を含む。)
指定管理者の名称	宮城県スポーツ協会・同和興業・セントラルスポーツ
施設所管部課(室)	企画部スポーツ振興課

## 1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者(管理受託者)の名称	摘要
平成18年4月 ~ 平成21年3月	指定管理者	宮城県スポーツ振興財団・同和興業・セントラルスポーツグループ	
平成21年4月 ~ 平成24年3月	指定管理者	宮城県スポーツ振興財団・同和興業・セントラルスポーツグループ	
平成24年4月 ~ 平成29年3月	指定管理者	宮城県スポーツ振興財団・同和興業・セントラルスポーツグループ	
平成29年4月 ~ 令和4年3月	指定管理者	宮城県スポーツ協会(振興財団)・同和興業・セントラルスポーツグループ	H30.4.1名称変更
令和4年4月 ~ 令和9年3月	指定管理者	宮城県スポーツ協会(振興財団)・同和興業・セントラルスポーツグループ	

(注)管理形態欄には、直営・管理委託・指定管理者の別を記入してください。

## 2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指定管理者の名称	名称	宮城県スポーツ協会・同和興業・セントラルスポーツグループ
	所在地	宮城県宮城郡利府町菅谷字館40-1
指 定 期 間	令和4年4月1日 ~ 令和9年3月31日(5か年)	
募 集 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	

## 3. 施設の概要【施設所管課記入】

施設の名称	宮城県総合運動公園(グランディ・21)	
所在地	宮城県宮城郡利府町菅谷字館40-1	
設置年月	平成7年11月	
根拠条例等	県立都市公園条例、総合運動場条例	
設置目的	スポーツの普及振興を図り、もって県民の心身の健全な発達と福祉の増進に資するため	
施設の内容	敷地面積	宮城県総合運動公園 約432,000㎡ 宮城県サッカー場 112,533.19㎡
	構造	キューアンドエースタジアムみやぎ(宮城スタジアム):鉄骨鉄筋コンクリート造6階建、セキスイハイムスーパーアリーナ(総合体育館):メインアリーナ 鉄筋コンクリート造3階建、サブアリーナ 鉄筋コンクリート造2階建、セントラルスポーツ宮城G21 プール(総合プール):鉄筋コンクリート造地上3階地下1階建、テニスコート:砂入り人工芝コート10面、全天候型ハードコート6面、合宿所:鉄筋コンクリート造3階建、みやぎ生協めぐみ野サッカー場(宮城県サッカー場):鉄筋コンクリート造3階建
	内容	第1種公認陸上競技場、第3種公認陸上競技場(補助競技場)、第3種公認投擲場、セキスイハイムスーパーアリーナ(メイン・サブ)、日水連公認プール(長水路、短水路、飛込)、テニスコート、合宿所サッカー場(天然芝2面、人工芝1面)
開館(所)日	年末年始(12/29~翌1/3日迄)及び毎月1、3、5月曜(休館日)を除く毎日	
開館(所)時間	午前9時00分~午後9時00分(プール:午前10時00分~午後8時00分)/日・祝日午前9時~午後5時	
指定管理者が行う業務の範囲	1 本施設の管理運営業務 2 本施設の使用許可申請の受付及び許可並びに利用料金の徴収に関する業務 3 本施設の利用の制限及び入場の拒否等に関する業務 4 本施設(宮城県サッカー場を除く)の行為許可に関する業務 5 本施設及び付随施設の機械設備の操作・日常点検業務 6 本施設及び付随施設の施設・設備、物品及び敷地の維持管理業務 7 その他の施設の管理運営業務に関して宮城県が必要と認める業務	
利用料金制	採用の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	利用料金の名称	・施設利用料金 ・行為許可利用料金(宮城県サッカー場を除く)

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 開館(所)日数及び利用者数

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和4年度) (A)	前年度 (令和3年度) (B)	評価対象年度 (令和4年度) (C)		
開館(所)日数(テニス・サッカー場)	328 日	330 日	330 日	100.6%	100.0%
開館(所)日数 (体育館・プール・スタジアム・合宿所)	328 日	325 日	329 日	100.3%	101.2%
延べ利用者数	851,900 人	826,913 人	1,170,136 人	137.4%	141.5%

(注)対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入してください。

(2) 延べ利用者数の内訳

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和4年度) (A)	前年度 (令和3年度) (B)	評価対象年度 (令和4年度) (C)		
宮城スタジアム	70,000 人	72,959 人	26,455 人	37.8%	36.3%
総合体育館	450,000 人	406,356 人	750,264 人	166.7%	184.6%
総合プール	90,000 人	90,280 人	77,897 人	86.6%	86.3%
テニスコート	17,000 人	18,230 人	18,904 人	111.2%	103.7%
合宿所	4,900 人	3,634 人	4,031 人	82.3%	110.9%
サッカー場	30,000 人	38,381 人	60,920 人	203.1%	158.7%
公園来場者(無料観客・見学・公園)	190,000 人	197,073 人	231,665 人	121.9%	117.6%
合 計	851,900 人	826,913 人	1,170,136 人	137.4%	141.5%

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入

(単位:千円、%)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和4年度) (A)	前年度 (令和3年度) (B)	評価対象年度 (令和4年度) (C)		
県指定管理料	575,000	569,855	575,000	100.0%	100.9%
補助金収入	0	117,108	1,966	-	1.7%
利用料金収入	387,557	278,222	438,636	113.2%	157.7%
その他	13,727	77,351	16,799	122.4%	21.7%
収入計 (a)	976,284	1,042,536	1,032,401	105.7%	99.0%

(2) 支出

人件費	175,552	184,555	179,737	102.4%	97.4%
施設管理費	666,032	762,402	697,986	104.8%	91.6%
事業運営費	48,912	35,849	43,187	88.3%	120.5%
その他	85,788	74,637	83,791	97.7%	112.3%
支出計 (b)	976,284	1,057,443	1,004,701	102.9%	95.0%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	0	-14,907	27,700	-	-185.8%
前期繰越収支差額				-	-
次期繰越収支差額				-	-

※ 自主事業を実施している場合は、上記に準じて、自主事業の収支実績を別掲すること。

5. 自主事業収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入 (単位:千円、%)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和4年度) (A)	前 年 度 (令和3年度) (B)	評価対象年度 (令和4年度) (C)		
事業費	31,780	42,383	40,007	125.9%	94.4%
参加料収入	54,008	32,254	43,784	81.1%	135.7%
				-	-
収入計 (a)	85,788	74,637	83,791	97.7%	112.3%

(2) 支出

人件費	57	18	37	64.9%	205.6%
施設管理費	13,210	10,631	11,737	88.8%	110.4%
事業運営費	16,756	6,715	15,875	94.7%	236.4%
その他	55,765	57,273	56,142	100.7%	98.0%
支出計 (b)	85,788	74,637	83,791	97.7%	112.3%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	0	0	0	-	-
前期繰越収支差額				-	-
次期繰越収支差額		0		-	-

6. 評価対象年度(令和4年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

項目	事業実績 【指定管理者記入】		指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		評価	県の評価 【施設所管課記入】		評価
	正規	非正規	評価	評価				
①管理運営体制	<p>【人員配置】 総務部、事業企画部、サービス向上グループ、施設管理グループの4グループ制とし、効率的な管理体制をとった。</p> <p>【職員研修】 ・サービス向上のための研修会を実施した。 ・職員に専門性を持たせるため施設管理に関する資格取得を推進した。 ・各種研修会に職員を派遣した。 ・スタジアム、アリーナ、第二総合運動場の3施設について、新型コロナウイルス感染症流行期などにおける施設開館のための応援体制を整備し、持続可能な施設運営の確立、及び組織体制の強化を図るため、施設間研修を初めて実施した。</p>		<p>○適切な人員配置及び業務分担により、効率的な管理運営体制で業務を遂行することができた。</p> <p>○県担当課、コンソーシアムグループ及び関係各所との連携・協力により円滑な管理運営ができた。</p> <p>○施設を管理するうえで必要な資格取得を推進し、専門的な知識を有する職員の育成を図ることができた。</p> <p>○各種研修会に職員を派遣することにより、他施設、他団体との交流機会を増やし、職員の資質向上に取り組んだことで、利用者サービスの向上が図れた。</p> <p>○各施設での業務全般に関する研修(各施設開館・施設、備品貸出対応、個人利用受付・電話対応等)を実施したことで、組織体制の強化と、利用者サービスの向上が図れた。</p>		S	<p>適切な人員配置を行い、効果的な管理運営体制が図られている。適時関係箇所との連携等を行っており、円滑に管理運営ができて体制をとっている。施設管理に関する資格取得を推進する取り組みや、各種研修会に職員を派遣することにより、他施設、他団体との交流機会を増やす取り組みを行い、職員の資質向上に努めている。</p>	A	
人員体制	正規	26人	非正規	8人				
②施設・設備の維持管理業務の実施	<p>○定期・法定点検に加え、施設管理グループ職員による日常的保守点検を実施し、設備の保全を図った。</p> <p>○施設の消毒や換気などを徹底し、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めた。</p> <p>○指定管理料に含まれる26,000千円を超える修繕を実施し、施設及び利用者の安全を担保すると共に利便性の確保をした(修繕費82,697千円)。</p> <p>○利用者サービスを低下させることなく、機能保全を図った。</p> <p>○光熱費の使用量削減や照明機器のLED化等の推進し、省エネルギー化に取り組んだ。</p> <p>○3/16の福島県沖地震後は、施設の早期再開に向けて応急修繕を実施した。</p>		<p>○法定点検だけではなく、施設管理グループ職員による日常的な保守管理により、施設・設備の状況を常に把握し、不具合の早期発見・早期対応に努めることができた。</p> <p>○施設の消毒や換気などを徹底し、安全に施設利用できる環境を整えることができた。</p> <p>○施設の劣化・不具合状況等の現状について、その都度県担当課へ迅速に報告・相談し、情報の共有が図ることができた。</p> <p>○緊急性の高い修繕等については、県と協議の上、当グループにおいて実施し、利用者サービスの低下を防ぎ、安全・安心な施設の提供となるように取り組んだ。</p>		S	<p>利用者の安全面を第一とし、緊急性の高い修繕に迅速に対応するとともに、日常的な保守点検の徹底に努めた。また、令和4年3月16日発生地震後は、施設の早期復旧に向け、工事業者等と連携し適切に対応している。</p>	S	
③運營業務(ソフト事業等)の実施	<p>○新型コロナウイルス感染拡大防止のため人数制限等を行い、従来実施している会員制度を再開しフィットネス&amp;レッスンを継続することにより、県民の運動機会を確保した。</p> <p>○幼児及び小学校低学年を対象としたスイミング教室やキッズ体育教室等を開催し、子どもの健康な体力づくりと体力・運動能力向上の推進を図った。</p> <p>○高齢者向けのシニア運動教室を開催し、健康長寿の延伸を図った。</p>		<p>○人数制限等の感染拡大防止対策を行いながらプログラムを実施することにより、県民の日常的な運動機会の増加に繋げることができた。</p> <p>○幼児から高齢者までの教室の実施により、生涯にわたるスポーツ活動の機会を提供することができた。</p>		S	<p>新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、感染防止対策を適切に行い、利用者ニーズを適切に把握しながら、幅広い年齢層を対象とした各種自主事業を展開し、生涯スポーツの振興に努めている。</p>	A	
④自主事業の実施	<p>○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部事業は中止としたものの、施設を活用し、感染拡大防止対策を行いながら下記事業を実施した。</p> <p>①競技スポーツ推進事業 ②生涯スポーツ推進事業 ③スポーツ環境整備事業 ④フィットネス&amp;レッスンプログラム</p>		<p>○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部事業を中止とし、自主事業参加者数が減となったものの、感染拡大防止対策を行いながら事業を実施し、スポーツフェスティバルやスポーツ観戦機会提供事業など新規事業にも積極的に取り組んだ。</p> <p>○フィットネス&amp;レッスンについては、人数制限等の感染拡大防止対策を行いながらプログラムを実施することにより、日常的な運動機会の増加に繋げることができた。</p> <p>○左記事業に対し、延べ79千人に参加いただいた。</p>		S	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の事業が中止となったものの、実施した事業については、新型コロナウイルス感染症対策を適切に行い、施設の利用促進に努めており、昨年度を上回る利用実績があった。</p>	S	
⑤利用者サービスの向上	<p>○競技大会等の貸切利用における早朝・深夜時間の利用希望者に対し、柔軟な対応を行った。</p> <p>○専用ホームページの他、マスメディア活用し、事業や施設利用情報等について積極的な各種情報提供を行った。</p> <p>○仙台空港駅に施設PR広告看板を設置し、遠方から来場者への利用促進及び来場者増を図った。</p> <p>○利用者アンケート等による要望・意見等について所内検討し、利用者サービス向上を図った。</p> <p>○県民の健康維持・増進に寄与するため、様々な運動機会を提供するとともに併せて宮城県総合運動公園の利活用及び個人利用の促進を目的に、施設無料等の利用者特典を設けた「スポーツポイントカード」を発行し、スポーツ実施率の向上及び利用者サービスの向上を図った。</p> <p>○ホームページに「スポーツ少年団登録団体紹介」ページのリンクを設け、利用者の利便性向上とスポーツの普及促進に努めた。</p>		<p>○大会等では、早朝や延長利用の希望が多く、柔軟に対応することで円滑な大会運営に寄与することができた。</p> <p>○ホームページでの案内やラジオCM、フリーペーパー広告等に加え、仙台空港に広告看板を設置したことにより、多くの県民に事業や施設情報を提供することができた。</p> <p>○利用者の要望やご意見について、迅速かつ適正に対応し、利用者サービスの向上に繋げることができた。</p> <p>○「スポーツポイントカード」を導入し、スタンプを20個押印したカードと引き換えに、記念品の進呈および年2回(7月、2月)の抽選会に参加することができることとした。令和4年度は延べ484名の方が抽選会に参加いただき、スポーツ実施率の向上及び利用者サービスの向上、利用者満足度の向上を大いに図ることができた。</p>		S	<p>円滑な大会運営をサポートするため、利用時間について柔軟な対応を行うとともに、ポイントカードを新たに導入するなど、利用者サービス及び利用者満足度の向上を図っている。</p>	S	

<p>⑥利用者の苦情、要望等の把握とその反映</p>	<p>○施設毎にアンケート調査を実施し、いただいたご意見やご要望を毎月実施のアンケート検討委員会により検討し、管理運営に反映した。また、検討結果や対応内容について施設内への掲示により、利用者にお知らせした。 ○各施設窓口において、直接的な要望等の把握に努め、その都度、迅速な対応を行った。</p>	<p>○ご意見・ご要望については、利用する立場で検討し、管理運営に的確に反映させ、利用者サービス向上を図ることが出来た。 【管理運営反映例】 ・プールシャワーノズルの交換 ・ポイントカード引き換え特典として施設無料券の追加 ・トレーニングルームロッカー内に休憩用の椅子の設置</p>	<p>S</p>	<p>アンケートに加え、各窓口で利用者の意見要望を聞く体制を整えている。毎月アンケート検討委員会を実施し、対応を検討し、対応可能な要望については常に迅速に対応している。</p>	<p>S</p>
<p>⑦安全対策</p>	<p>○施設利用において、主催者と安全対策について打合せし注意喚起するとともに、施設・設備の保守管理の徹底や職員の安全教育を実施した。 【実施対策】 ・雷雲接近情報提供 ・熱中症予防に関する情報提供 ・食中毒等の防止案内の実施 ・貴重品の保管と盗難への注意喚起 ・監視カメラによる確認及び巡回監視 ・予防修繕の実施 ・防災、避難訓練の実施、他 ○新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、ガイドラインを遵守し次の対策を実施した。 ・出入口に消毒液を設置 ・使用器具の消毒 ・施設内換気の強化 ・受付等にアクリル板の設置 ・サーモグラフィによる入場時の検温など ○3/16発生の福島県沖地震後は、応急修繕を実施し、危険個所の安全対策を実施の上、利用を再開した。 ○利用者の安全確保のためAB駐車場への転落防止柵の設置、サッカー場の雨水管修繕を実施した。 ○雨天時に床が濡れて滑り易く危険であったトレーニングルーム前の雨漏れ修繕や、水溜りが出来ていた第二駐車場の入口アスファルト舗装工事を行い、来場者の安全性、利便性及び快適性を向上させた。</p>	<p>○大会等主催者との打合せにおいて、各参加者にも内容を周知徹底していただくように要請し、各種事故の発生防止に努めた。 ○全施設同時の防災訓練を実施し、より実践的な安全対策をとることができた。 ○左記の各種情報提供及び対策の実施により、利用者の安全担保を図ることができた。 ○新型コロナウイルス感染症への施設としての適切な取り組みを行い、安心して施設を利用できる環境を整備できた。 ○地震発生後も応急修繕と危険個所への安全対策により、早期に施設利用を再開できた。 ○駐車場への転落防止柵の設置やサッカー場の雨水管修繕を実施することにより、利用者の安全・安心に寄与することができた。 ○A・B駐車場の転落防止柵の整備工事により誤操作による転落が解消され駐車場の安全強化が図られたことにより、施設利用者の利便性・快適性の向上を図ることが出来た。</p>	<p>S</p>	<p>全施設同時の防災訓練を行い、より実践的な安全対策の実施、防災・防犯対策の各種情報の提供など、利用者の安全に十分配慮した、対策が講じられている。</p>	<p>S</p>
<p>⑧県民の平等利用</p>	<p>○競技大会について、国＞地方＞県＞市町村の優先順位により、年間の利用調整を行った。 ○県民誰もが利用できる状況とするため、競技大会・イベント等の利用日数を調整し、個人利用日を設け、平等利用に努めた。</p>	<p>○県のスポーツ振興の中核拠点施設であることを認識し、スポーツ利用を中心とした、多様な施設の提供を行うことができた。 ○施設内掲示の他、ホームページで利用予定を一目で確認できるように情報を提供することができた。 ○個人で利用できる日程を確保し、誰もが気軽に利用できる環境整備に努めた。 ○指定管理者で設定した施設利用の基準により、ホームページ等で「コロナ禍での施設利用方法・ルール」を公表し、県民の平等利用に努めることができた。</p>	<p>S</p>	<p>県を代表する総合運動場であることから、各競技の大会開催を優先し、年間利用を調整しているが、貸切利用の状況を館内掲示やホームページで公開することにより、個人利用者への配慮がなされている。</p>	<p>A</p>

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価
⑨個人情報の保護	○個人情報保護規程を定め遵守するとともに、専用ホームページにおいて当該既定を公表し、他の目的に流用しない旨を周知した。 ○取得した個人情報は書棚を施錠し管理を徹底した。 ○施設予約システムの専用回線化、パソコンのファイアウォール設定、ウイルス対策の実施やパスワード管理の徹底を行い、私有パソコン・外部記憶装置等の持込み及び指定ソフトウェア以外の使用を禁止した。	○個人情報保護規程の遵守の他、個人情報を扱うパソコン等機器類や管理システムの整備、適切な運用を行うよう職員教育を行ったが、自主事業参加者10名に参加決定をお知らせする際に、誤ってBCC機能を使用せず10件の個人メールアドレスがお互いに見れる形で配信してしまった。謝罪メール送信後、電話での謝罪と誤送信したメールの削除を依頼するとともに再発防止策の徹底を行った。なお当該事案については主務課に報告の上、県庁記者クラブを通じて公表した。	B	独自の個人情報保護規定を策定し、情報の漏えい、き損及び滅失の防止に努めたものの、セキュリティ事故が発生している。事故については、適正に対処しており、再発防止策を講じている。	B
⑩利用実績	上記「4. 施設利用実績」のとおり	○令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大に伴う施設の利用休止が一部あったものの、コンサートやスポーツ大会が新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで人数制限なく開催されたことや、スポーツフェスティバル等の無料参加型のイベントの実施やスポーツ教室・スクール事業を通年で開催できたことにより30万人程増加した。	S	新型コロナウイルス感染症の影響により一部利用キャンセルがあったものの、感染対策を講じた上でコンサートやスポーツ大会の開催があり、昨年度に比べて利用人数がは増加した。	S
⑪収支実績	上記「5. 管理運営収支実績」のとおり	○当初の収支計画と比較して、事業収入については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じ、施設を供用したことから利用料収入が増額となり、全体で54,151千円の増額となりました。 ○支出については、施設の老朽化に伴う修繕費の増、原油価格高騰による光熱水費の増などにより、計画に対し、28,417千円の増となりました。	S	利用料収入については、新型コロナウイルス感染症の影響が昨年より減少し、増収となっている。また、安定した利用料収入確保のため、利用者のニーズを把握した上で自主事業を展開した。また、利用者の利便性向上のため、施設・設備の修繕や備品更新等を行った。	S
⑫その他の取組	○「わが社のeco do!宣言」を行い、積極的に環境配慮の取組みを実践した。(近隣住環境含む) ○関係団体に協力いただき、良好な施設の提供に努めた。 ○「スマート宮城県民会議」登録企業として、宮城県民の体力向上へ寄与した。 ○令和2年度にリニューアルしたウォーキングマップを活用し、ウォーキング教室を実施することにより宮城の健康課題の改善に努めた。	○ゴミ発生量の削減やエコマーク対象製品の使用、エコドライブ及び節電等により環境保全や省エネルギーを推進することができた。 ○コンサートやスポーツ大会の開催時、主催者をはじめ、地域や警察、消防等関係団体にご協力いただき、良好な施設提供ができた。 ○引き続きウォーキングマップの活用により、県民への運動機会を提供することができた。	S	環境に配慮した取組として、ごみの発生量の削減、分別処理を行っている。大会時等には、関係団体と協力し、大きなトラブル等がなく適切に施設を提供できていた。 ウォーキングマップを活用することにより、県民の健康課題の改善に努めた。	S
	総合評価	○コロナ禍においても、迅速かつ適切な感染防止対策を実施し、安全・安心な施設運営を行うことができた。 ○新型コロナウイルスの感染拡大や3/16に発生した地震の影響もあったが、利用者の安全確保のため修繕等維持管理に努めた。 ○県のスポーツ振興の拠点施設として、県民の平等利用を確保し、利用者ニーズに沿った管理運営を行うことができた。	S	新型コロナウイルス感染症に対する対策を適切に実施し、安心・安全な施設運営ができており、県のスポーツ振興の拠点施設としての役割を十分に果たしている。	S

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

項目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	指定管理期間5年間を見据えた維持管理計画により修繕及び備品の更新を実施しているが、大規模施設であること、老朽化が進んでいることから、更に長期的視点での計画及び平準化した執行が必要である。利用者の安全確保及び施設の快適性維持のため、県担当課と連携して取り組んでいく。 また、利用者数、利用料収入共に年毎のコンサート・イベント実施状況の影響を受けることを念頭に置きながら、新型コロナウイルス感染症の感染症分類が5類に移行されたことを受け、効率的な利用調整と安全・安心な施設の提供により、利用者数がコロナ前の水準まで回復できるよう、今後も継続して施設の利用促進に努めていく。	施設の維持管理については、5年間の維持管理計画に基づき更新を実施しているが、更新にあたっては今後とも、サービスの向上及びコスト削減を念頭に置くとともに長期的な観点から執行する必要がある。 また、新型コロナウイルス感染症についても、国の動向を注視しながら感染対策に取り組んでいくとともに、施設の利用促進を支援していく。